

市長の 所信表明

新市長に



を聞きました

厳しい財政状況下の 市政経営は

初宿和夫市長就任後、初の市議会定例会で、市長から今後の市政運営や施策の基本的な考え方を示した所信表明を受けました。ここでは、市長の所信表明に対する議員の質疑の主な内容を掲載します。



所信表明の録画
中継はこちら↓

すべての人が輝き、 やすらげる街に

市政を預かる最高責任者として「市民の生命と財産を守ることを第一の信条とし、これまで市民の皆様と築いてきた行政基盤と法規律のもと、すべての人が、あらゆる場面で輝き、やすらげる街づくりに全力で取り組んでいきます。



所信表明を行う
初宿市長

国民健康保険税の 市民負担への対応を

社会保険費の増を見据えた対応では、国民健康保険(国保)税の市民負担が、これ以上増えないよう、市が対応すべきと考えるがどうか。

問

安定的な国保制度の運営には、都の示す標準保険料率^{※1}の適用が必要と考えている。市は健康寿命延伸など、負担増を避ける努力を続けるほか、国や都には制度の構造的な問題の解決や、さらなる財政支援を要望しており、今後は都の支援も見込まれている。

答

無償化の一日も早い実現に向けた考えを聞きたい。

都市計画を含めた 企業誘致施策は

都市計画上の用途地域の問題で、新たな企業を誘致できない現状がある。都市計画の課題を含めた企業誘致施策について聞きたい。

問

昨今の社会環境の変化や交通環境の向上に伴い、本

答

学校給食費無償化の 実現に向けて

市税等の一般財源収入減や社会保障費増など、厳しい財政見通しの中、既存事業の見直しにとどまらず、抜本的な変革に取り組まなければならないと認識している。

問

子育て世帯の負担を軽減する学校給食費無償化の実現に向け、既に庁内検討会を立ち上げ、議論を進めている。最大の課題である財源確保の方策を検討し、速やかに判断していききたい。

答

子育て世帯の負担を軽減する学校給食費無償化の実現に向け、既に庁内検討会を立ち上げ、議論を進めている。最大の課題である財源確保の方策を検討し、速やかに判断していききたい。

行政のデジタル化の 推進は喫緊の課題

市への企業立地のニーズは高く、持続可能な発展のためにも、それに応えていかなければならないと認識している。適地に産業用地を創出することに努め、新たな企業誘致の仕組みを構築していく。

問

コストを意識した行政のデジタル化推進への考えは。

答

推進には、費用対効果や市民サービス向上、業務の効率化の実現が重要である。行政のデジタル化推進により、新たな行政需要に応える人材と財源を確保していく。



※2 市政運営における「三方よし」の経営理念

人 よし 未来の八王子を担う人づくりを目指します!

- ★学校給食費の無償化の実現に向けた検討
- ★地域での子育て環境の充実
- ★社会保障費の増を見据えた超高齢社会への対応 など

街 よし 魅力あふれる活力ある活気あふれるまちづくりを目指します!

- ★日本遺産活用で市全域に賑わいを回遊させる取り組み
- ★駅周辺の賑わいの創出など都市機能のさらなる充実
- ★新たな産業用地の創出や中小企業対策の充実 など

暮らし よし 安心安全な暮らしを目指します!

- ★市民サービスを向上させる行政のデジタル化の推進
- ★多摩ニュータウンの持続可能なまちづくり など

※1一定の方式で算定することにより、都道府県などの標準的な保険料率の水準を表したものを

※2近江商人の経営哲学「売り手よし、買い手よし、世間よし」。売り手と買い手の満足は当然、社会に貢献できてこそ良い商売という考え